

平成30年度 国土地理院関係第二次補正予算について

— 重要インフラ「電子基準点網等」に関する緊急対策 —

重要インフラの緊急対策にかかる平成30年度第二次補正予算案額は、4.5億円です。

重要インフラである電子基準点網等による地殻変動監視等の継続性を確保するため、災害リスクに対して大きな影響が想定される施設の耐災害性強化等を実施します。災害が発生した場合においても、地殻変動等の情報を継続的に提供し、安全・安心や災害後の復旧・復興に貢献します。

事業概要：

○被災回避のための電子基準点網等の耐災害性強化 351 百万円

災害時においても継続して地殻変動等の情報を提供できるようにするため、災害リスクに対して耐災害性強化が必要な電子基準点網等について、移設・強化の対策を行います。

○衛星 SAR による地殻変動監視等の代替・補完機能強化 100 百万円

電子基準点網等の機能が喪失した場合であっても、地殻変動情報等を迅速に提供できるようにするため、人工衛星で観測したデータの解析（SAR 干渉解析）の機能を増強します。

参考資料：

平成30年度国土地理院関係第二次補正予算 重要インフラ「電子基準点網等」に関する緊急対策

（問い合わせ先）〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土交通省国土地理院
企画部 企画調整課長 長谷川 裕之 Tel 029-864-2664
課長補佐 島田 久嗣 Tel 029-864-4568 Fax 029-864-1658

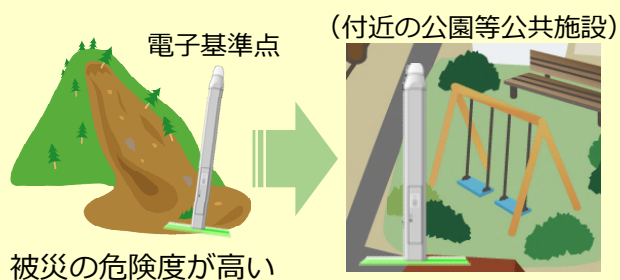
平成30年度 国土地理院関係第二次補正予算 重要インフラ「電子基準点網等」に関する緊急対策

【参考資料】

重要インフラである「電子基準点網等」による地殻変動監視等の継続性を確保するため、災害リスクに対して大きな影響が想定される施設の耐災害性強化等を実施します。災害が発生した場合においても、地殻変動等の情報を継続的に提供し、安全・安心や災害後の復旧・復興に貢献します。

被災回避のための電子基準点網等の耐災害性強化 351百万円

災害時においても継続して地殻変動等の情報を提供できるようにするため、災害リスクに対して耐災害性強化が必要な電子基準点網等について、移設・強化の対策を行います。



代替点設置による『移設』



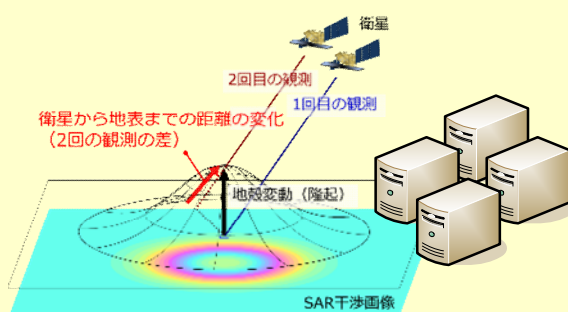
防水・バックアップ電源等の対策による『強化』

災害時においても運用を継続

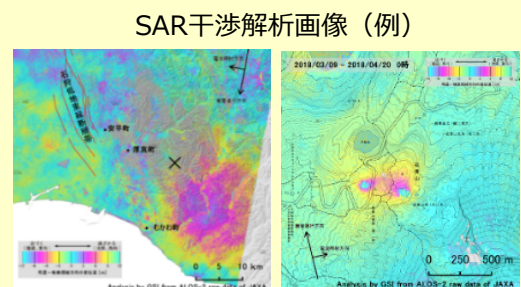


衛星SARによる地殻変動監視等の代替・補完機能強化 100百万円

電子基準点網等の機能が喪失した場合であっても、地殻変動情報等を迅速に提供できるようにするため、人工衛星で観測したデータの解析（SAR干渉解析）の機能を増強します。



解析サーバの増強等



北海道胆振東部 霧島山（硫黄山）
人工衛星観測データの解析（SAR干渉解析）の速度向上

電子基準点網等の機能が喪失した場合においても、
地殻変動監視等の代替・補完手段を確保